

2025年度業務実績報告書

提出日 2026年1月16日

1. 職名・氏名 助教・平井 宏美

2. 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 新潟医療福祉大学大学院、授与年 2014年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護学（2）3年前期
②内容・ねらい 妊娠期、分娩期、産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的、精神的、社会的側面からその特徴を概説し、ウェルネスの概念に基づき、健康上の強みを視点においた看護の必要性和具体的援助の実際について講義する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 基本的知識が得られるように、基本となる専門用語の解説から、身体的特徴とフィジカルアセスメントの方法や心理社会的特徴について、理解しやすいように丁寧に説明した。また、実際の症例や臨床でよく出会う事例、経験を伝えたり、DVD視聴を取り入れるなどをしながら、学生がイメージしやすいようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護学演習（2）3年前期
②内容・ねらい 紙上事例を用いて看護過程を展開する演習を行い、実習で対象者を受け持ち看護過程を展開する際の思考を身につけられるようにする。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 母性看護学の看護過程の展開では、6～7人の小グループによるグループワークで演習を行い、学生が主体的に取り組めるようにした。今年度の新たな取り組みとして、ルーブリックでの評価に着手し、学生、教員双方が学習成果を可視化できるようにした。技術演習では、新生児モデル等を用いてまずデモンストレーションをし、実際のケアを学生がイメージしやすい授業展開を取り入れた。その後、学生が技術を実施する際には、手を添えながら丁寧に関わることを意識した。また、ロールプレイを取り入れて臨床場面を想定した演習をおこなった。 県内の認定看護師による特別講義では、臨床での
【ゲストスピーカー 1人】
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護学実習（2）3年後期
②内容・ねらい 周産期にある母子とその家族を対象として、看護アセスメント・看護計画立案・看護実践と評価を行い、基本的な看護実践能力を身につけるとともに、母性の特性と母性看護の役割について理解を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受け持ち対象者に沿った看護、特にウェルネスの観点から看護の必要性を考えて実践できるように指導した。また、学生の実習体験がグループ全員で共有できるような関わりを持った。複数の病院で実習しているため、オンラインでカンファレンスをし、実習病院が異なっても体験を共有したり相談し合えるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護発展セミナー（1）4年前期
②内容・ねらい

国内外のリプロダクティブヘルス&ライツの視点から最近の課題について探求し、母性看護の役割や母子保健について理解を深める。学生自身が関心のあるテーマを決め、最近の話題や問題について医療・福祉、社会情勢など多方面から情報を収集する。集めた情報をさらに探求し、女性の生涯にわたってリプロダクティブヘルス&ライツを脅かしている問題を明らかにし、女性の健康課題と母性看護の役割について学習する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

今年度は、履修者がいなかったため開講していない。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

・卒業研究（3）4年通年

②内容・ねらい

母性看護領域に関する研究テーマにおいて、卒業論文を作成する過程で科学的思考力を養い、自ら探究する態度と研究能力の基礎を身につける。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学生1名を担当し、興味・関心あるテーマから研究の視点を見出し、研究のプロセスが理解できるように関わりを持った。学生の主体性や考えを尊重し、また、領域内のゼミでは、教員と学生間でディスカッションすることで、多様な考えを知ったり、思考の整理ができるようにサポートした。最終的に、卒業論文を作成し、その内容を成育看護学分野の卒業研究発表会でプレゼンした。

(2)その他の教育活動

内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等 ＊1. 母性看護過程演習におけるルーブリックの開発. 第 45 回日本看護科学学会学術集会. 2025.12.6-7. 平井宏美, 岩谷久美子, 牧野葵. 2. 仮想環境型教材である産褥早期出血場面の Review 機能を用いた振り返り内容及び教材評価. 第 45 回日本看護科学学会学術集会. 2025.12.6-7. 岩谷久美子, 平井宏美, 牧野葵. 3. 日本における家庭での性教育に関する文献レビュー. 第 45 回日本看護科学学会学術集会. 2025.12.6-7. 牧野葵, 岩谷久美子, 平井宏美.	【3 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ・外部資金 武田精神こころの健康財団 R7 年度助成事業 1 件採択 ・科研費 2025 年度～2028 年度 基盤研究(C) 25K06121 研究代表者 ・科研費 2022 年度～2025 年度 基盤研究(C) 22K10926 研究分担者 【学内】 ・学部内競争的資金 R7 年度 KF 枠 1 件採択	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・日本助産師会／福井県助産師会会員 福井県助産師会 通常総会出席 R7.5.25 ・日本看護協会／福井県看護協会会員 福井県看護協会 看護基礎教育検討委員会委員 ・日本助産学会会員 ・日本看護科学学会会員 ・福井県母性衛生学会 周産期勉強会出席 R6.7.6	

5. 地域・社会貢献活動

- ・日本助産師会 災害時活動協力員 R5.2～現在
- ・福井県済生会病院 研究指導
- ・福井県助産師会活動 JA 福井県主催 マタニティ・ファミリーパーク R7.1.25
- ・福井県助産師会活動 性教育出前講座（永平寺町吉野小学校）R7.1.28
- ・いのちの講座 福井市内こども園 R7.7.25

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- ・看護福祉学部委員：学部広報 WG（R7.4～現在に至る）
「大学案内 27」看護学科担当
- ・看護学科科内委員：卒業研究係（R7.4～現在に至る）、実習検討委員会（R7.4～現在に至る）
福井県看護協会 看護基礎教育検討委員会委員（R7.4～現在に至る）

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など

- ・高校訪問 入試説明会 R7.7.18